



佐藤人事委員会事務局長に要請内容について説明する小田嶋地公共闘事務局長 (写真・左中央)

# 岩手県職労

月2回刊=1395号  
2013年8月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸九番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジロー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 地公共闘・県人勤へ取り組みスタート

# 改善勧告求め要請書を提出

## 通勤などに関わる『持ち出し解消』強く求める

県地方公務員共闘会議(豊巻浩也議長・岩教組委員長)は、8月21日、県人事委員会に対し「県人勤に係る要請書」を提出した。

要請行動には幹事会メンバー19人が参加。上田地公共闘副議長(高教組委員長)から12項目にわたる要請書を佐藤人事委員会事務局長に提出したあと小田嶋事務局長は、今勧告での改善を強く



佐藤事務局長に要請書を手渡す上田地公共闘副議長 (写真・左)

### 2013県人事委員会勧告に係る要請書 (全12項目)

- 2013年度の給与改定における公民較差の配分のあり方等については、生活水準の維持確保や本年7月からの給与削減の現実を十分に踏まえるとともに、県職員給与が東日本大震災からの経済復興に与える影響を考慮し、月例給及び一時金の維持・改善を行うこと。
- 本年7月からの給与削減は、政府による強要及び一方的な地方交付税減額を背景とした、人勤制度によらない不当な削減であることから、労働基本権制約の代償機関たる人事委員会として報告等において県当局への指摘等を行うこと。
- 高齢層の昇給抑制及び現給保障廃止については、労使において慎重な検討が進められている段階であることから、早期実施を促す不要な干渉を行わないこと。
- すべての在職者が定年まで昇給が可能となるよう、号給を延長すること。特に、最高号給者の解消と教育職員など級構成が簡素な職員への対応を早急を実施すること。
- 可処分所得が減少する中で、本県における特殊事情や地域・職場の実情を踏まえつつ、職員の自己負担の解消につながる諸手当の改善勧告を行うこと。
- 地方公務員の標準的給与の確立に向けた取り組みを行うこと。そのため、全国人事委員会連合会の体制・機能の強化や人事委員会相互の連携方策等について、職員組合との意見交換を進めること。
- 東日本大震災からの復興へ全国から多くの応援職員が派遣されていることに鑑み、夏季休暇の増日や、子育て支援としての学校行事にかかる休暇制度の新設など、休暇制度の改善に努めること。
- 恒常的な超過勤務を縮減することを目的に、改正労働基準法で努力義務とされた1か月の時間外勤務45時間超60時間までの超過勤務手当の割増率を引き上げる勧告を行うこと。また、「不払い残業」の一掃、変則・交替制勤務職場における労働時間短縮、在庁時間の削減目標の策定など超過勤務縮減の具体策を示すこと。
- 雇用と年金の確実な接続の形態として「65歳までの段階的定年延長」を見据えながら、当面の間、希望者全員の再任用制度を早期に確立するとともに、退職時給与の8割水準を確保すること。
- 非常勤・臨時採用職員の処遇改善、安定雇用に関して、職員組合との交渉・協議と合意に基づき、人事委員会として積極的な対応を行うこと。
- メンタルヘルス対策をはじめ、健康管理体制と労働安全衛生体制の拡充を図るとともに、人事委員会の労働基準監督権限を適正に発揮すること。
- 実効あるセクシュアルハラスメント対策を実施すること。また、パワーハラスメントの防止策としての「定義付け」を含めた対応を早急に措置すること。

く求めた。これに対し人事委員会の佐藤事務局長は、「現在、民間の給与実態調査データの整理・分析に着手したところで、状況について話せる段階ではないが、他県の動向等を注視しながら地公共闘は、今回の要請

ら適切な勧告ができるよう作業を進める。また、今回の要請については近く行われる委員会でも各委員の皆さんに報告させていただき」と回答した。

## 「大型ハガキ署名」をやり切ろう

周りの職員にも声をかけて広範な取り組みに

8月8日に出された2013人事院勧告は、月例給・一時金ともに2年連続での「改定なし」となった。達増知事が「復興加速年」を唱え、職員負担が一層増加することが想定されるなか、昨年の人事委勧告による一時金削減に加え、3月には退職手当の引き下げ、7月からは給与削減の加入者、非常勤・臨時職員の人たちにも声をかけながら広範な取り組みにしよう。

## 「ながーい」おつきあい

団体生命共済プラス長期共済で生涯保障に備えましょう。



じちろうの団体生命共済+長期共済  
自治労共済本部  
●詳しくは所属する組合まで

書提出によって事実上、秋の人事委員会勧告に向けた取り組みをスタートさせたことになる。昨年の一時金削減に加え、退職手当の引き下げ、7月からの給与削減と、私たちの生活が改善され続けており、県職労は、組合員の生活水準維持のため、今後の県人勤・秋の確定闘争に全力をあげる。

## 第五世代

トレンド総研が30~40代の男性社員300人を対象に行った調査によると、サラリーマンの3人に1人が、仕事の原因で気持ちが沈みやすくなる。仕事うつを自覚しており、こうした人ほど満足いく休憩が取れていないという結果が出た。さらにはこの調査では、「仕事うつ」を回避するポイントには、休憩にあり、「時間の長さ」ではなく「質の高さ」が重要であるとしている。調査に関係した精神科医によると、仕事を離れて気分を切り替えることにより、仕事の能率を高めアイデアを湧きやすくさせるとのこと。休憩には重要な役割があったのだ。震災以降、職員の多忙感が増しており、特に沿岸地域の職場からは、「心身ともに疲れていても休暇を取ることができない」とか「仮設住宅での生活自体がストレスだ」などの声が寄せられている。今の職場実態では、「質の高い休憩」を取ることが難しい現実がある。健康診断時のメンタルヘルスチェックでは、受診者の1割近くが要配慮者である。もはや職場や所属長の配慮だけでは解決できない。人員配置の適正化や労働環境の整備など、実効性のある対策を望む。



教育会館で行われた2013平和運動県中央集会



雨のなか、津志田の大国神社から教育会館めざしての平和行進

# 「ノーモア・ヒロシマ!」 「ノーモア・ナガサキ!」 「ノーモア・ヒバクシャ!」 核と人類は共存できない 核兵器廃絶・恒久平和求めて平和行進と県中央集会開催

今年、広島・長崎に原爆が投下されてから68回目夏を迎える。こうしたなか、2013平和運動実行委員会(連合若手・平和環境県センター・核禁会議の三団体)が主催する「2013平和運動県中央集会」が31日、盛岡市の岩手教育会館大ホールで開催された。

この日は、29日から県内4コースで行われた平和行進が盛岡入り、行進参加者や連合傘下の各労組組合員、市民約400人が参加した。はじめに、実行委員会を代表してあいさつに立った連合の砂金文昭会長は「今日、地球上には1万7千発以上の核兵器が存在し、いまなお人類に狙いを定めて眠っている。私たちは、唯一の被爆国として国際会議における核軍縮決議の提出をはじめ、2015年NPT再検討会議に向けて核軍縮と核兵器廃絶の取り組みをいっそう強めていかなければならない」と訴えた。

その後、各コース責任者からの報告、広島・長崎からの報告、**二戸支部新体制確立** 県職労二戸支部は、7月5日に2013年度の体制を確立し新体制での活動をスタートした。役職と氏名は次のとおり。(敬称略)

- 二戸支部 新体制確立**
- 支部長 秀典(東北農業研究所)  
副支部長 啓悦(三戸保健福祉センター)  
書記長 演彦(二戸農林センター)  
書記次長 慎介(三戸高等技術専門校)
- 執行委員
- 新沼 司(二戸地域振興センター)
  - 千田 裕(二戸農業改良普及センター)
  - 伊藤 貢(二戸地域振興センター) 県税課
  - 豊巻 正人(二戸地域振興センター) 林務課
  - 鈴木 正義(二戸土木センター)
  - 藤本 義明(二戸土木センター) 会計監事
  - 松田 悟(二戸地域振興センター) 林務課
  - 石手洗 慎(二戸保健福祉センター)

## 保険や保障の「ムリ」「ムダ」をなくし家計の節約を考えてみませんか!

# 全労済の協力で、各支部において「学習会」「相談会」開催中!

### 「共済を利用しよう!」セミナー&コンサル

岩手県職員労働組合では、自治労共済への加入や保険・保障の見直しで可処分所得を増やすことをめざして、全労済の協力で「学習会」と「相談会」を行います。保険や保障の「ムリ」「ムダ」をなくし、家計の節約について考えてみましょう。

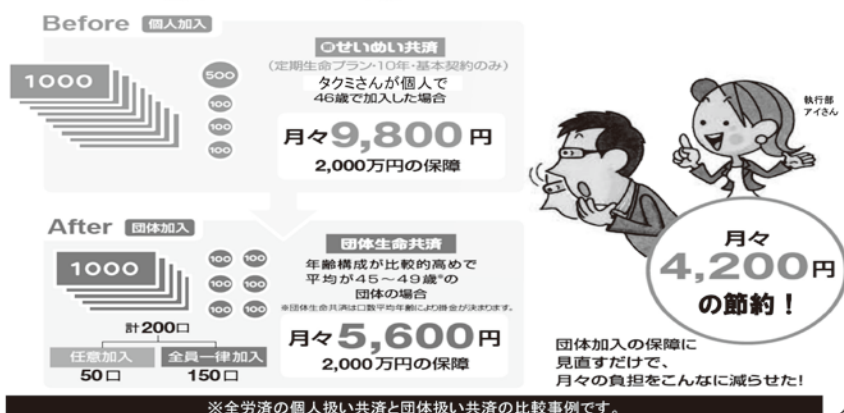
### 組合の数の力を活かし 家計負担を 軽くする方法が あった!

賃上げがなかなか進まず、組合員の生活状況もますます厳しくなっています。そんな中、組合の取り組みで家計の支出を減らす方法があったら利用したいですね。そのひとつが、「人生の買い物で住宅の次に大きな支出」と言われている保障の見直しと、労働組合の数の力・スケールメリットを活かした制度の利用です。

46歳のタクミさん  
パートの妻と10代の子どもが2人いる

#### 『保障の見直し』事例の紹介

タクミさん の場合、個人で加入する保障から、団体で加入する保障に切り替えたら...



結論!

### 組合の数の力を活かした、 団体加入の保障制度 『じちろう共済』を利用しよう

「じちろうセット共済」  
9/13まで追加募集中!

共済加入 保障見直し

全労済のファイナンシャル・プランナー(FP)がお手伝いいたします。

生命保障のことはよくわからないので、勧められるままに加入した。保障の内容を詳しく知りたい。

今の掛金は家計に対する負担が大きいので見直したい。

いつも加入しているのですが、必要な保障だけに整理したい。

- 20代~30代...若手職員ならではの医療保障の見直し
- 30代~40代...子どものいる家庭での遺族保障・年金保障の見直し
- 40代~50代...退職後・老後を考えた保障の見直し

## 「個別相談」申込書

### 生命保障

□受付シート

分会名	
組合員氏名	
勤続年数	年
配偶者	□有・□無 歳
18未満の子ども	人
その他扶養家族	人
持家	□有・□無
配偶者の就労	□有・□無 [定職・パート]

### 住宅保障

□受付シート

分会名	
組合員氏名	
住宅区分	□木造・□鉄筋
目的区分	□持家・□借家 □貸家・アパート等
建坪	坪
世帯主年齢	歳
同居人数	人

☆保障の見直し相談の場合、現在の証券コピーをご持参ください☆

<通信欄>

※詳しくは各支部書記局まで、お問い合わせ下さい。